

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英会話
科目基礎情報						
科目番号		0030		科目区分	一般 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科		環境都市工学科		対象学年	2	
開設期		前期		週時間数	2	
教科書/教材		Talk a Lot Starter Book (2nd Edition), by David MARTIN, EFL Press				
担当教員		マーシュ デイビッド				
到達目標						
1. 英文で自分の考えを明確に表現できる 2. ショートスピーチを通して、相手に理解してもらう						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目 1		趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して質疑応答をすることができる。		趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。		趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話しても、簡単な質疑応答をすることができない。
評価項目 2		趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する話を理解することができる。		趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する短い話を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。		趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する短い話を、ゆっくりはっきりと話しても、理解することができない。
学科の到達目標項目との関係						
D						
教育方法等						
概要		目的は、活発なコミュニケーションを通して英語を学ぶことです。				
授業の進め方・方法		新しい表現と語彙を学び、ペアやグループで練習します。グループでトピックを決めて発表・個人の発表リスニング問題を使用して小テストなどを行う。				
注意点		個人の発表の準備をしっかりとる。語彙強化ノートを作成する。				
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス & Talk a Lot Starter Book Unit 1		Self introduction, talking about likes / dislikes	
		2週	Talk a Lot Starter Book Unit 2		Talking about Japanese festivals Talking about the weather	
		3週	Talk a Lot Starter Book Unit 4		Talking about likes / dislikes, favorites	
		4週	Talk a Lot Starter Book Unit 5		Eating and drinking habits Food likes / dislikes	
		5週	Talk a Lot Starter Book Unit 6		Talking about hobbies and sports Using adverbs of frequency	
		6週	Talk a Lot Starter Book Unit 8		Describing things Using adjectives to describe animals, food, etc.	
		7週	Talk a Lot Starter Book Unit 10		Using simple past to tell a story Making past tense wh- questions	
		8週	個人発表		発表する	
	4thQ	9週	個人発表		発表する	
		10週	Talk a Lot Starter Book Unit 11		Talking about work Using simple present wh- questions to ask about work	
		11週	Talk a Lot Starter Book Unit 12		Making comparisons Talking about school	
		12週	Talk a Lot Starter Book Unit 13		Telling time Expressing large numbers	
		13週	Talk a Lot Starter Book Unit 15		Talking about past experiences using present perfect	
		14週	個人発表		発表する	
		15週	個人発表		発表する	
		16週	まとめ・フィードバック		まとめ・フィードバック	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				英語運用能力向上のための学習	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	
				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
評価割合						
			発表（個人）	小テスト	合計	
総合評価割合			50	50	100	
配点			50	50	100	